「あわら市は坂井市と合併した方がいい」

あわら市は今 2 万 8 千人しかいません。毎年人口が 1%以上減っています。現在の市設立の基準を満たしていません。今回のあわら市議選でも坂井市との合併の議論は私が知る限り候補者の誰も言及していなかったと思います。また、何人かの市議さんと話す機会がありますが、積極的に賛成という方はほぼいないように思います。あわら市が坂井市と合併するか否かは、本来市民が決めるべきです。私が患者さんと話している限りでは、合併賛成の人の方が多いと感じます。しかし、市民の代表と位置付けられている議員さんは、自分の身分の問題もあり、一般の市民の意見を反映しているとは言えないと感じます。だから、いつまでたっても合併が議論されないのだと思います。もちろん、今の役職にある方たちは、それぞれのポストで日々一生懸命お仕事をされていると思います。しかし、基本的に市民が黙っていると、立法行政は責任のあいまいさが残せることと、仕事が増えるという利点のために、組織、ポストは増える方向に行ってしまうと思います。少なくともこの問題に関しては、市民と立法行政側との方向性は必然的にずれていってしまうと私は思っています。だからこそ、市民が声を出し、賛成しない立法行政に選挙の投票や、直接声を出して合併を主張していくべきだと思うのです。

それではなぜ、合併した方がいいのでしょうか？

まず第一に、人口が少ない市は、分割損が生じ、かつ、広域的な戦略的な社会的投資が行いずらくなるからです。合併すると、今まで私が述べてきたように、農業、教育等を行っていくうえで、地域の分割損が少なくなり、得意分野を考慮した役割分担が考えられ、人、物、金を効率よく投入できます。また、観光では丸岡、JR あわら温泉駅、芦原温泉、東尋坊、三国等の川、鉄道等を有機的につなげるような広域的な連携が容易になります。

第二に、組織の簡素化により、歳出削減になります。あわら市、坂井市にはそれぞれ市役所があり、市長、市の役人がいて、市議会議員がいます。これらが合併すると、半分とは言わないまでも、かなり少なくて済むはずです。もちろん、これらの維持、創設費は税金から賄われているので、合併すると、市民の税金を理論的には減らせます。あるいは、私が今まで述べてきた農業、鉄道、教育環境等の投資に回せます。具体的な組織の例としては、今、介護保険を差配している「広域連合」は、あわら市と坂井市が共同で設立した役所ですが、あわら市と坂井市が一緒であったら本来必要ない組織だと思います。

あわら市、坂井市の合併が実現出来たら、以前述べたように、福井市、勝山市、大野市、永平寺町とも合併して、「嶺北市」を作ればより上記の利点が出てくると思います。もちろん一段階で「嶺北市」ができればベストですが、これだけ広域になると、合意を得るのに時間がかかるために、まずは両市の合併で大合併への促進を図りたいと思います。さらに、「嶺南市」を作り、福井県を無くせば、横だけではなく縦の立法行政組織の簡素化が図れ、責任の所在がより明確になり、判断が早くなり、民業はよりスムースに事業を行えるようになると思います。これらも、立法行政に任せていては、ほぼ実現不可能でしょう。何度も繰り返しますが、市民が声を出さなければならないところです。

私は、その前段として、まずは、あわら市と坂井市の合併を目指すことを主張します。